

活動名	千葉日本大学第一小学校実験教室
-----	-----------------

貢献・連携類型	4. 小中高大連携・協力
---------	--------------

報告者	一般教育	学科	職位	教授	氏名	大久保 尚紀
-----	------	----	----	----	----	--------

概要（実施したこと、進捗状況等）について記述してください。

日本大学理工学部は、付属小学校である千葉日本大学第一小学校との連携の一環として、本学部の教員による実験教室を毎年行っています。この活動は、小中高大という一環した連携教育のモデルとして、大学での先端の実験教育やアーティスティックな実験教育のエッセンスを含んだ科学教育を付属小学校が享受し、将来の理系人材への育成する活動です。また、教職課程の学生のボランティア参加などを通し大学生の育成にも取り組んでいます。

令和6年度前期は、3年生に対して身近な材料を用いた「ミニ地層を作る」を実施しました。

今後の展望、本活動で得られた成果を記述してください。

3年生79名が参加し、非常に楽しんで作業が行われました。各人が選んだ3色の砂で作った地層が作れる装置は、ゆっくりと落ちる砂をみて様々な事を考え、できた地層は同じ物は1つとしてありません。また、何度でも繰り返し地層を作ることが出来ますが、毎回異なる描像となることなど、繰り返し楽しめるアートを含む科学教育として実施することができました。

対象・相手先	千葉日本大学第一小学校の3年生児童79名
--------	----------------------

協定書・依頼の有無（具体的に記入） 相手先からの理工学部長宛て依頼文書がある
---

実施日時	令和6年7月8日 9時30分～11時
------	-----------------------

場所	理工学部船橋校舎1号館4階 第1, 2実験室
----	---------------------------



本学からの参加者  
 一般教育教室・大久保尚紀、他9名（中原、梶山、伴、岡田、勝木、杉友、竹内、桑島、山口）  
 短大一般教育・豊田陽己  
 教職課程の学生1名

